

笑顔
を
再
び
。

総合リハビリテーションセンター

どの病棟にいても！！在宅復帰した後も！！ 私たちリハビリスタッフがサポートします

総合リハビリテーションセンター概要

当センターは、急性期・回復期(入院)～生活期(外来・通所・訪問)まで一貫した幅広いリハビリテーションを提供しています。また様々な疾患にも対応し、専門性を持ったリハビリスタッフが患者さん・ご家族の希望にあわせ、家庭・社会復帰をサポートします。

急性期病棟

病気の発症からできる限り早い段階で行われるリハビリテーションです。患者さんの全身状態を医師・看護師と相談しながら、安全なリハビリテーションを提供します。

回復期病棟

退院後も元の生活が送れる様に日常生活に必要な練習や、患者さんが希望する趣味・活動の練習など、365日集中的に行います。入棟できる対象の病気は脳血管・脊髄損傷・2カ所以上の骨折などがあります。

地域包括ケア病棟

急性期治療後に体力や日常生活動作が低下した患者さんにリハビリテーションを行います。また自宅で療養中の方で「身体機能の低下がある」、ご家族が「介護に疲れてきた、少し休みたい」(レスパイト入院)などの場合にもリハビリテーションを行います。

※レスパイトとは

治療、医療など必要ないが介護者の負担軽減のための社会的入院のことです。

療養型病棟

急性期治療後の長期入院の方や退院調整中の患者さんを対象として、身体の状態に合わせてリハビリテーションを実施し、身体機能を維持・向上していきます。



在宅

通所リハビリテーション

利用者さん一人ひとりに、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、介護職員が日々協働し、円滑に日常生活が送れるよう様々な訓練、脳トレーニングやレクリエーションを行います。またご家族の介護負担軽減のために入浴や食事の提供を行います。



訪問リハビリテーション



リハビリスタッフがご自宅へ訪問し、利用者さん本人又ご家族から希望をお伺いし、各家庭の環境に応じて訓練を行います。家の中での移動訓練や外出訓練、寝たきりの利用者さんに対しては座位訓練や関節が硬くなるのを予防します。

外来リハビリテーション

入院の必要のない、腰痛・五十肩・腕の骨折などの患者さんに対して日常生活の改善や復職に向けて、外来通院しながらリハビリテーションを行います。さらに他病院からの紹介による患者さんにも対応しています。



患者さんとともに歩む 私たち！

多職種で在宅復帰を支援します

理学療法

病气やけが、高齢などにより身体の運動機能および筋力が低下した方を対象に、運動機能の改善をはかり、座る・立つ・歩くなどの動作ができるように筋力アップのサポートをします。また、痛みや炎症を和らげる温熱・電気など併用してリハビリテーションを行います。



作業療法

病气やけがのために身体に障がいを持った方に、食事・トイレ・着替え・家事・趣味などの日常の動作が、普段通り行えるようサポートします。また福祉用具の選定や福祉用具を使用した訓練を行います。



言語聴覚

主に脳出血・脳梗塞などの後遺症で、失語症(言葉がでない)・構音障害(ろれつが回らない)の方へ訓練を行います。また、嚥下障害(食べることに障がいがある)の方に定期的に嚥下造影検査も実施し、食事の訓練を行います。



えんげそうえい 嚥下造影検査

当院ではレントゲン室で、飲み込みの機能に異常がないかを調べる嚥下造影検査を実施しています。検査では、造影剤(バリウム)入りの食品がどのように口から胃まで運ばれていくのか確認することができます。そこで飲み込みの機能が正常かどうかを判断し、状態に応じて安全に食べられる食事形態や姿勢を検討します。



家に帰った後に上手く出来る自信ないな…。

介助するのが初めてなので、退院後の不安が大きいです。

身体は安定してきたので、一緒に介助の練習をしましょう

院内外泊で介護体験をしてみませんか？

院内外泊とは 回復期リハビリテーション病棟内 家庭復帰支援室



作業療法室
家庭復帰支援室
ADL室

病棟スタッフと共に退院後の宅での生活を想定し介護方法を考えます。病棟内の家庭復帰支援室を利用して、試験的に患者さんとご家族が共に過ごし、介護体験をすることができ、24時間看護スタッフがいます。め夜間でも安心して利用いただけます。院内外泊の結果を踏まえて問題点や困ったことを話し合っ、より良い生活を送れるよう訓練に活かしていきます。

病気・けがの状態に応じた 専門的なリハビリテーションを！

患者さんとの絆を大切に

脳血管
麻痺による歩行障害、言語障害などの様々な障がいに対してリハビリテーションを行います。

心臓
心臓疾患(心不全など)による息苦しさ、下肢のむくみに対して全身状態を管理しながらリハビリテーションを行います。

呼吸器
持久力訓練、痰の排出訓練、呼吸指導を行い肺機能の改善のリハビリテーションを行います。

がん
がん手術前後・治療中で体力低下した方に対してリハビリテーションを行います。終末期の患者さんに対して緩和ケアと併用し、充実した生活を訓練によりサポートします。

運動器
腕や足の骨折、関節の硬さ、筋力低下に対して、筋力増強訓練、硬まった関節を拡げる訓練を行います。

コラム
緩和ケアとは…
 がん自体の症状のほかに、痛み・倦怠感などの身体的症状や、落ち込み・悲しみなどの精神的な苦痛を和らげます。医師・看護師・薬剤師・栄養士・リハビリスタッフなどがチームとなって患者さんとご家族を支援します。
栄養サポートチーム(NST)とは…
 多職種がひとつのチームとなり、患者さんの栄養管理を考えています。リハビリテーションの際、体力・エネルギーなどを消費するため、何の栄養素が必要なのか考えます。



理学療法士 杉本 愛奈
 身体・運動の専門家である理学療法士として、患者さんの抱えている問題や悩みを改善し、願いを実現することを心がけています。退院の際は、患者さんが笑顔で病院を出て行く姿を見られるようにこれからも日々精進していきます。



言語聴覚士 寺田 陵
 コミュニケーションや食べることに障がいがある方の人生に寄り添います。患者さんの持っている、身体的な可能性を最大限に引き出すだけでなく、退院後もより良い生活を送れるように尽力していきます。



作業療法士 中森 康介
 病気やけがを抱えた患者さんが、退院後もその人らしい生活が送れるよう支援していきたいと考えています。目の前の患者さん・ご家族の希望や大切にしていることを汲み取り、二人三脚でリハビリテーションを進めていきたいと思ひます。

地域の方に選ばれるリハビリテーションセンターをめざして

私たちが全力でサポートします

さあ家に帰ろう……



交通案内

○公共交通機関をご利用の方

・近鉄四日市駅にて近鉄湯の山線に乗り換え
菟野駅下車 3分

○お車でお越しの方

・東名阪 四日市ICより国道477号線(湯の山街道)を
湯ノ山方面へ約10分
・新名神 菟野ICより国道306号線を南へ約5分、
477号(湯の山街道)を四日市方面に約5分
・国道1号線より477号線(湯の山街道)を
湯の山方面へ約30分